



月刊えるるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・触れ合える・学べる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



特定非営利活動法人

大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブさん

平成30年2月10日（土）特定非営利活動法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブさんの定例会がありました。普段どのような活動をされているのか団体さんのことを伺ってきました。

どのような団体さんですか

会の設立目的は「日本の近代化を支えた炭鉱のまちについて、炭鉱のまちの様々な地域資源を活かしたまちづくり活動を展開する事業を行い、地域の活性化へ寄与することで、炭鉱のまちの風景と心象が次世代に継承されていくことを目的とする（定款より）」としている特定非営利活動法人です。

大牟田市では

どのような活動をされていますか

2016年度はツアーガイド（炭鉱のまちの魅力を伝えるツアーガイド）・ちくご子どもキャンパス（石炭と近代化遺産の体験型学習）の開催、こらぼらQでん（大牟田市・荒尾市・九州電力との協働による世界遺産清掃及び草刈り活動）有明坑災害慰霊碑の草刈り清掃活動など。

世界遺産と産業遺産の価値について考えるシンポジウムを行ったり、九州伝承遺産ネットワーク総会の受入、大牟田夏まつりではキャップランブ隊として総踊りに参加し炭坑節を踊ったりしました。地域の行事「ウェルカムちくまちフェア」や「ふくおかできるマーケット2016」にも参加しました。今後、力を入れていきたいのがタントタントウォークです。

タントタントウォークとは？

タントタントウォークは炭鉱のまちの魅力を伝えるウォーキングです。一般市民の方、当時の記憶を持つ方や、三井関連会社で勤務されていた方などに参加して頂いています。タントは炭都であり、沢山の意味です。

また、えるるでは定例会（毎月第2土曜日）の開催や、市民向けの講演会など（不定期）も開催しています。

講演の様子です



今後の目標を教えてください

炭鉱のまちの風景と心象を次世代に継承するために、炭鉱施設、建造物等の近代化遺産の調査、啓発活動、保存活用の提言などを実施したいです。その背景となる炭鉱の歴史をわかりやすく解説していきたいと思っています。

具体的には

- ①大牟田市役所本庁舎の耐震結果の学習
- ②電気機関車の価値の掘り起し
- ③人工島初島のクルージング等、魅力あるツアーガイドの企画
- ④次世代を担う子ども達に対する啓発活動
- ⑤世界文化遺産のある都市でのNPOのモデル活動（英語ガイド等）



最後にPRをお願いします

大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブは多様な活動を行っています。現在、定例会に参加する会員は10～15人です。興味のある方は、ぜひお声をおかけください。

なお、難しそうな活動だけでなく、楽しい活動も行っています。大牟田夏まつりのキャップランブ隊に参加し、いっしょに炭坑節を踊りませんか。

問合せ先

特定非営利活動法人

大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ

大牟田市築町2-8 大牟田カメラ3階

TEL0944-52-7026 FAX0944-31-5633

E-mail Info-c@omuta-arao.net

法人のHP: <http://www.omuta-arao.net>

大牟田市民として炭鉱の歴史を解説し魅力を伝える活動はとても興味深かったです。住んでいる町のいろいろなことをもっと知りたいと思いました。

NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブさん、ご協力いただきありがとうございました。